

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策	参画・協働の推進	電話番号	087-839-2111	
	基本事業	広聴・広報機能の充実	事業実施主体	市	
	事務事業	市民相談事業	事業期間	平成28年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	文書や電話・来訪等で寄せられる市民の意見・相談・苦情・要望など、広聴広報・シティプロモーション課市民相談コーナー（市役所1階）で受け付けるもので、問題の内容によって関係機関と検討の上、早期解決に努めている。 相談業務としては、市政相談、一般相談、専門相談を、広聴業務としては、市長への提言、市政出前ふれあいトーク、市長まちかどトーク事業などを実施している。		
6年度概要	○市政相談、一般相談、専門相談（弁護士法律相談等）等相談業務 ・弁護士法律相談は年間94回実施予定、司法書士法律相談は年間24回実施予定としている。 ○市長への提言、市政出前ふれあいトーク、市長まちかどトーク等広聴業務 ・市政出前ふれあいトークは154のテーマの中から選択でき、市長まちかどトークは年間5回程度予定している。市長への提言等は常時受け付けている。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

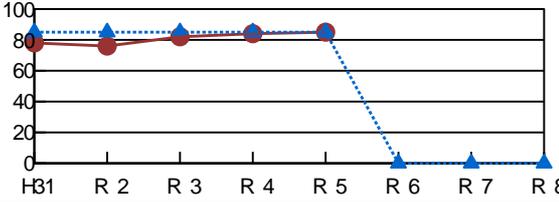
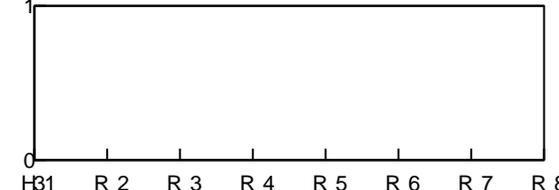
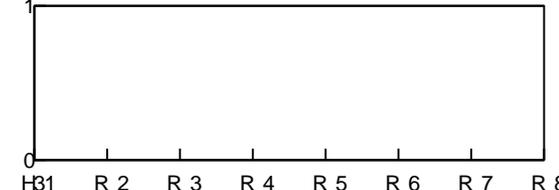
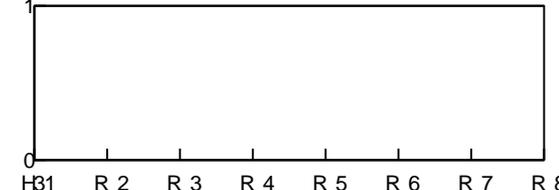
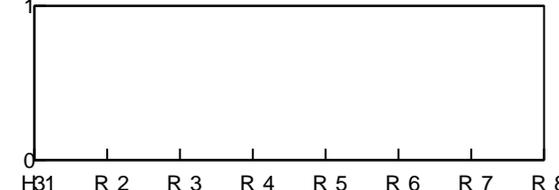
【事業の目的】

対象（何を）	市民及び周辺住民
意図（どのような状態にしたいか）	相談業務を通して、市政に対する意見・苦情を始め、住民が抱えている疑問や問題解決へ向けた相談に応じる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
法律相談の稼働率	%	60	85	91	0	60

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
	法律相談利用者の満足度	%	目標値	85	85	85	0	85
	実績値	82	84	85				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 法律相談アンケートの回答では、「満足」「やや満足」は85%となり、前年度に比べ1ポイント増加した。「不満」「やや不満」は時間が足りないなどの理由が最も多く、前年度から1ポイント多い5%であった。 							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	35,987	36,785	33,651	29,803
（事業費）	[千円]	10,317	11,339	12,049	13,244
（職員人件費）	[千円]	25,670	25,446	21,602	16,559

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

市民の声を市政に反映するとともに、日常生活における様々な問題を解決するため、各種相談事業を実施してきた。市民満足度の向上と市民の市政参画の推進を図るため、今後とも、より相談体制の充実に努めながら継続して事業を実施する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

市民の声を市政に反映して、市民サービスの向上を図るとともに、日常生活における様々な問題を解決するため、各種相談事業を実施している。また、市民満足度の向上と市民の市政参画の推進を図るため、今後とも、より相談体制の充実に努めながら継続して事業を実施する。

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策	参画・協働の推進	電話番号	087-839-2161	
	基本事業	広聴・広報機能の充実	事業実施主体	市	
	事務事業	テレビ放送等広報事業	事業期間	平成28年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	市政に対する関心と理解を深めるため、市政の重要施策や制度など市民生活に関わりの深い事業やイベント、ニュース、市民の多彩な活動の様子などを、市民にわかりやすく伝える番組を作成し、民放テレビやケーブルテレビ、動画配信サイト「高松ムービーチャンネル」、FMラジオ放送などの広報媒体を活用して効果的に伝える。				
6年度概要	民放テレビ放送 ・市政PRテレビ広報番組 月1回 ・魅力発信コーナー番組 月2回				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務無）		

【事業の目的】

対象（何を）	市民及び周辺住民
意図（どのような状態にしたいか）	市政情報や市の魅力を発信し、市政への理解を促すとともにシビックプライドの醸成を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
民放テレビ広報番組制作数	本	17	21	16	12	15
CATV番組制作数	本	72	54	24	0	48

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
民放テレビ広報番組視聴率【年平均】	%	目標値	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3
		実績値	4.1	4	3.5		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	<p>（目標達成度）</p> <p>市政番組（3分）の年間平均視聴率は3.5%と目標値を下回ったものの、放送回によっては最高視聴率が5.4%となっている。今後とも市民生活に役立つ情報を効果的に発信する</p> <p>（達成度） 81.4%</p> <p>28点</p>						
CATV市政広報番組視聴割合	%	目標値	6.9	7	7	7.2	7
		実績値	6.8	7.4	7.4		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	<p>（目標達成度）</p> <p>3年ごとに実施している広報アンケートにおいて、CATV市政情報番組を「よく見ている」とときどき見ている」と回答した人の割合は、全体の7.4%であった。今後とも、幅広い年齢層の視聴者に番組を継続して視聴してもらえるよう内容の充実を図る。</p> <p>（達成度） 105.7%</p> <p>35点</p>						

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	千円	37,736	31,220	28,947	23,717
（事業費）	千円	20,371	14,007	13,140	12,426
（職員人件費）	千円	17,365	17,213	15,807	11,291

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

親しみやすい広報番組を目指し、民放・ケーブルテレビにおいて、広報番組を制作・放映した。また、市の魅力を発信する広報動画を制作し配信することで、市民のシビックプライド醸成に取組んだ。一方、情報媒体が多様化する中、情報収集の方法は、世代によって異なるとともに変化していることから、必要な情報を必要な人に届けるため、対象となるターゲットや発信内容に応じて各媒体の特性を生かした情報提供が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

テレビやラジオなどの広報媒体を活用し、市政情報や市の歴史・文化など、市の魅力を効果的に発信することで、市政への理解とシビックプライドの醸成を図る。また、広報高松とSNSなどを連携させるメディアミックスを活用し、より効果的な情報発信を行う。

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策	参画・協働の推進	電話番号	087-839-2161	
	基本事業	広聴・広報機能の充実	事業実施主体	市	
	事務事業	ホームページ等管理運営事業	事業期間	平成28年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	本市の広報媒体の中で、速報性が高く、より広範囲に情報を発信できるホームページを通じて、本市の施策や取り組み、観光情報などの市政情報を、タイムリーに発信するとともに、民間ソーシャルメディアを活用した動画配信サイトを開設し、写真や文字だけでは伝えることができなかった情報を映像で効果的に発信していく。		
6年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ管理運営 ・SNSによる情報発信（LINE、Facebook、LINE） ・広報動画配信サイト管理運営 ・公式LINE管理運営 		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	市民
意図(どのような状態にしたいか)	市からの各事業のお知らせや地域の身近な情報を配信し、市民の市政への理解・協力を深めてもらうとともに、行政と市民との協働の強化、市政への参画を促す。また、本市の持つ様々な魅力ある資源や情報を積極的に国内外へ発信し、市のPRを行う。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
情報更新件数(新着件数/年)	件	3,274	2,972	4,536	1,525	1,500
インターネット広報動画配信件数	本	119	159	205	65	60

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
インターネット広報動画再生件数	回	目標値	16,000	16,500	17,000	17,100	17,000
		実績値	36,758	66,271	121,880		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) ホームページやSNSを通じて市政情報や市の魅力を紹介する広報番組等を随時配信することで、動画再生回数が前年度の約2倍となり目標数を大きく上回っている。		(目標達成度)					(達成度) 716.9% 35点
市ホームページ(サイト全体)へのアクセス数	件	目標値	15,000,000	15,000,000	15,000,000	15,000,100	15,000,000
		実績値	39,943,657	35,538,941	34,694,662		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 様々な市政情報をタイムリーに掲載したことで、ホームページ全体のアクセス数は、目標を大きく上回っている。		(目標達成度)					(達成度) 231.3% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
トータルコスト	[千円]	17,623	14,777	20,273	17,272
(事業費)	[千円]	8,563	5,796	9,735	11,250
(職員人件費)	[千円]	9,060	8,981	10,538	6,022

【評価】

評価ランク(A~D)	A	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

スマートフォンの普及に伴い、ホームページやSNSなどのデジタルツールを活用した情報発信の重要性は、ますます高まっている。R4年度には、市公式LINE「たかまつホットLINE」をリニューアルしたため、今後、LINE等のSNSや広報動画、ホームページを更に活用した効果的な情報発信に取り組む必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

今後は、市公式LINEやその他の各広報媒体の特性を活かしながら、ターゲットや発信する内容に応じて、最も効果的な広報媒体で情報提供を行う。また、広報動画とSNSを連携するメディアミックスや広報高松から市ホームページへ誘導するクロスコミュニケーションといった手法を一層活用し、より効果的な情報発信を図る。

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策	参画・協働の推進	電話番号	087-839-2161	
	基本事業	広聴・広報機能の充実	事業実施主体	市	
	事務事業	広報高松等発行事業	事業期間	平成28年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	本市の制度や取組など、様々な市政情報を市民に分かりやすく提供することにより、市民生活の利便性を向上させるとともに、市政に対する関心と理解を深め、情報の共有化を進める。		
6年度概要	・広報高松発行（毎月1日発行、年12回） ・点字等広報発行（毎月10日発行、年12回） ・声の広報発行		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	市内全世帯
意図（どのような状態にしたいか）	市民に対し、市の施策・事業の目的を始め、市民が利用できる行政サービスや参加できる行事等の情報を提供し、市政についての理解や協力を得るとともに、市民の市政（まちづくり）への積極的な参画を促す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
広報高松発行部数	部	2,399,400	2,398,900	2,400,000	2,400,000	2,400,000
広報高松配布部数	部	2,336,893	2,341,250	2,348,092	2,358,000	2,358,000

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
広報高松を読んでいる人の割合	%	目標値	70.5	71	71.5	86.8	71.5
		実績値	68.6	76.8	76.8		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 3年ごとに実施する「広報アンケート」において、「広報高松」を「全ページ読む」、必要な記事を読む」と答えた人の割合が76.8%であった。今後とも、若者から高齢者までより幅広い年齢層の市民に親しまれる紙面づくりに努める。			(達成度) 107.4% 35点				
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)			(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	106,996	108,007	100,175	132,431
（事業費）	〔円〕	88,121	89,297	88,132	121,140
（職員人件費）	〔円〕	18,875	18,710	12,043	11,291

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

市民により読んでもらえるよう、特集記事の拡充など内容や構成等を見直した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

広報高松は、市政情報を発信する上での基幹媒体であり、市民に役立つ市の施策や制度・イベント情報等を発信するとともに、歴史や文化、特色ある地域資源などの市の魅力を伝える情報を発信することでシビックプライドの醸成を図る。

令和 6年度 (5年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	広聴広報・シティプロモーション課
	施策	参画・協働の推進	電話番号	087-839-2161	
	基本事業	広聴・広報機能の充実	事業実施主体	市	
	事務事業	吹奏楽団事業	事業期間	平成 28年度 ~ 令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	・楽団の演奏活動を通じて親しまれる市役所とともに、市民との協力関係の強化を目指す。 ・市民主体のまちづくりのために、地域のイベントや小学校への訪問演奏などを行い、音楽を通じて地域の活性化や一体感の醸成に取り組む。		
6年度概要	吹奏楽団事業 定期演奏会(年1回)をはじめ、市民の依頼や楽団企画による演奏会実施		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	市民
意図(どのような状態にしたいか)	吹奏楽団の広報活動によって、親しまれる市役所を目指すとともに、市民の市政への理解を深め、市政への参画を促す。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
市民からの依頼や楽団企画に基づく演奏活動回数(年間)	回	6	21	22	21	20

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
聴衆者数(参加者数)	人	目標値	14,000	14,000	14,000	10,000	14,000
		実績値	850	8,000	7,520		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染拡大防止のためのイベント開催制限は緩和されたが、一部影響は続いており、目標を達成できなかった。 聴衆者数(参加者数)実績 7,520人 (目標 14,000人)		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(達成度)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">53.7%</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">18点</div> </div>					
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(決算)	令和 6年度(予算)
トータルコスト	[円]	4,879	5,170	6,914	6,821
(事業費)	[円]	1,104	1,428	1,645	2,305
(職員人件費)	[円]	3,775	3,742	5,269	4,516

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
新型コロナウイルス感染拡大防止のためのイベント開催の制限については緩和されたが、一部影響は続いており、演奏機会が伸び悩んだ。一方、定期演奏会については、コロナ禍以前並みの聴衆者を迎えて、開催することができた。今後、徐々に演奏機会の増加が見込まれる。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
地域でのイベントや学校への訪問演奏などを通じ、市民との交流に努め、親しまれる市役所を目指すとともに、地域の活性化や一体感の醸成など、市政への理解や参画を推進するため、事業を継続して実施する。			